

# I 観 光 動 向

## 1 概 要

### (1) 観光客数

本市の入込観光客数は、平成9年(1997年)には、NHK大河ドラマ「毛利元就」の放映や「グリーンフェスタひろしま'97」などの大型イベントの開催に加え、「原爆ドームの世界文化遺産登録」(平成8年(1996年)12月)による注目の高まりなどにより、初めて1,000万人を突破し、1,023万5千人を記録した。その後、平成16年(2004年)までは、900万人台で推移していたが、平成17年(2005年)には、広島県大型観光キャンペーンの実施に伴い、8年ぶりに1,000万人を突破し、その後は1,000万人以上を維持している。

平成25年(2013年)は、「ひろしま菓子博2013」の開催や、「広島県デスティネーションキャンペーン」の取組などにより、観光客の増加に努めた結果、入込観光客数は、対前年比5.9%増加の1,151万3千人となった。

平成26年(2014年)は、「瀬戸内しまのわ2014」や「JR西日本重点送客キャンペーン」の取組、旧広島市民球場跡地を活用したイベントの実施などに加え、球団史上最多となる観客動員数を記録したカープ球団人気の高まりも重なり、対前年比1.2%増の1,165万2千人となった。

平成27年(2015年)は、各種被爆70周年事業の開催や新白島駅の開業に加え、前年に引き続き球団史上最多となる観客動員数を記録したカープ球団人気の高まりも重なり、対前年比3.0%増加の1,199万7千人となった。

平成28年(2016年)は、オバマ前米国大統領の訪問や原爆ドームと厳島神社の世界遺産登録20周年観光キャンペーンの実施などに加え、25年ぶりのリーグ優勝を達成し球団史上最多となる観客動員数を記録したカープ球団の人気も重なり、対前年比5.1%増で過去最高の1,261万1千人となった。

平成29年(2017年)は、カープが37年ぶりにリーグ連覇したことに加え、広島駅周辺の再開発の進捗及び広島駅自由通路開通やekie(エキエ)のオープンによりJRを利用した観光客が増加し対前年比6.3%増の1,341万4人となり、7年連続で過去最高を更新した。(表I-1)

### (2) 修学旅行生

修学旅行生数は、平成3年(1991年)までは50万人台で推移していたが、それ以降、児童・生徒数の減少や修学旅行の多様化などにより減少傾向にあったことから、平成16年度(2004年度)に、修学旅行誘致専任職員を配置し、全国の学校や旅行会社等に対する個別誘致活動を開始した。こうした取組の結果、全国の学生数が減少傾向を示しているのに対し、平成20年(2008年)以降は、30万人以上を維持している。

平成25年(2013年)は、前年度に引き続き積極的な個別誘致活動に取り組み、対前年比1.0%増の31万6千人となった。

平成26年(2014年)は、9月以降、平和記念資料館の東館が改修工事で閉館されているにもかかわらず、対前年比3.5%減の30万5千人にとどまった。

平成27年(2015年)は、7月末から8月上旬にかけて山口県にて第23回世界スカウトジャンボリーが開催され、約2万5千人が平和記念資料館を訪れたことから、対前年比9.8%増の33万5千人となった。

平成28年(2016年)は、対前年比3.6%減の32万3千人となったが、平成27年(2015年)に開催された第23回世界スカウトジャンボリーの参加者約2万5千人を除けば1万3千人増となっている。

平成 29 年（2017 年）は、平和記念資料館の本館が耐震改修工事で閉館したものの、東館をリニューアルオープンするとともに、積極的な個別誘致活動を継続した結果、対前年比 1.2%減に留まる 31 万 9 千人となった。（表 I-1）

### (3) 外国人観光客

外国人観光客数は、平成 15 年（2003 年）から官民あげての外国人観光客誘致事業である国のビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）が開始され、平成 16 年（2004 年）には 20 万人を突破、その後も VJC 事業の推進により、連続して過去最高を更新し、平成 19 年（2007 年）には初めて 30 万人を突破した。しかしながら、平成 20 年（2008 年）に、世界金融危機による景気後退と円高急進の影響を受けて、それまでの増加傾向から足踏み状態となった。

平成 22 年（2010 年）は、VJC 事業として米国・豪州・韓国・中国・台湾を対象に、旅行会社への観光説明会や商談会の開催、視察の受入れなどを行うことにより、対前年比 11.5%増の 33 万 9 千人となったが、平成 23 年（2011 年）には、東日本大震災の影響があり、対前年比 18.3%減の 27 万 7 千人となった。

平成 24 年（2012 年）は、本市が観光庁の「訪日外国人旅行者の受入環境整備事業」において、外国人旅行者受入れの中核的な役割を担う戦略拠点に選定され、外国人旅行者向け街角観光案内所「トラベルパル・インターナショナル」を設置するなど受入環境の整備を進めるとともに、これまで同様 VJC 事業や旅行会社等へのプロモーション活動を実施した結果、対前年比 31.0%増の 36 万 3 千人となった。

平成 25 年（2013 年）は、円安の影響や東南アジアを中心としたビザ発給要件の緩和などの訪日旅行を促進する環境が整い、日本全体でも増加傾向にある中で、中国運輸局や広島県と連携し、プロモーション活動を積極的に展開するとともに、フリーWi-Fi 環境の整備など外国人観光客の受入環境の充実に向けた取組を進めたことにより、対前年比 46.0%増で過去最高の 53 万人となった。

平成 26 年（2014 年）は、前年からの円安基調に加え、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定や、「和食」が世界的な評価を受けるなど（※）、訪日観光に高い関心が集まる中、外国人観光客に信頼の高い旅行口コミサイト等で高評価を得ている 2 つの世界遺産を中心としたプロモーションなどに取り組み、対前年比 24.0%増で過去最高の 65 万 7 千人となった。

（※）平成 25 年 12 月 ユネスコ無形文化遺産登録

平成 27 年（2015 年）は、外国人旅行者が増加する中、インバウンド対策として、中国運輸局や広島県と連携し、台湾・中国・フランス等を対象に、現地旅行業者等の招へいなどプロモーション活動を積極的に展開するとともに、大型クルーズ船の寄港誘致等を進め、対前年比 56.6%増で、初めて 100 万人の大台を突破し、102 万 9 千人となった。

平成 28 年（2016 年）は、外国人観光客の増加を図るため、広島県などと連携し、中国・台湾・フランス・タイに新たにアメリカ、オーストラリア、韓国、香港を加えた 8 市場を重点取組市場とし、市場ごとの旅行特性を踏まえたプロモーション活動を展開するとともに、海外の大型クルーズ船の寄港誘致などの取組を進めてきた。また、オバマ前米国大統領の訪問により広島への関心が高まったこともあり、対前年比 14.3%増で過去最高の 117 万 6 千人となった。

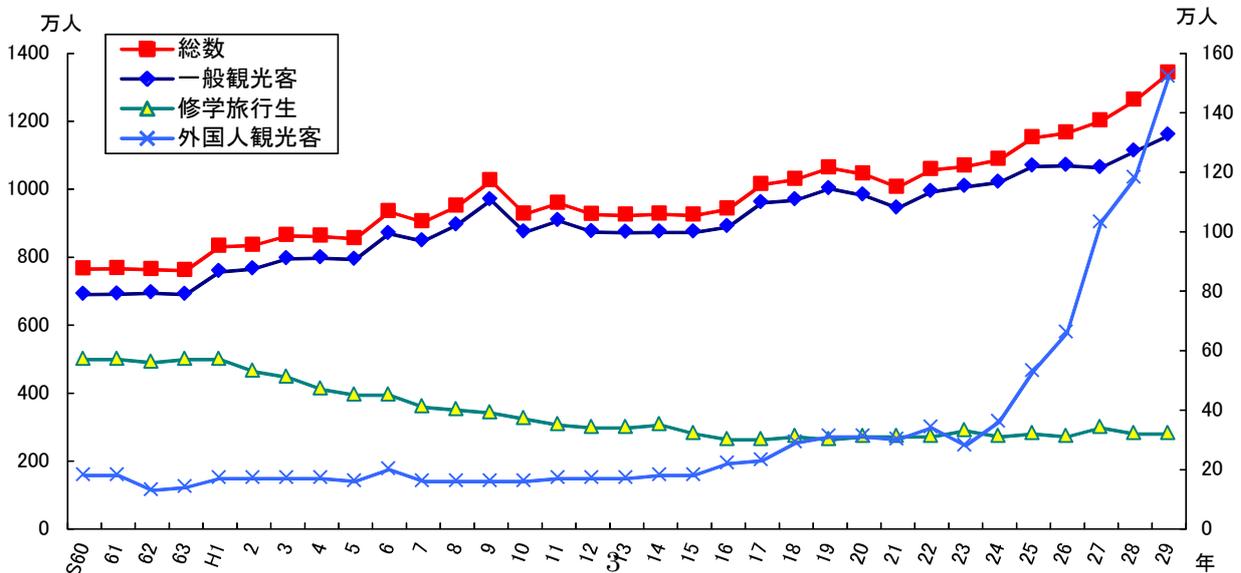
平成 29 年（2017 年）は、平成 28 年（2016 年）から引き続き、8 つの国・地域（米国、フランス、オーストラリア、中国、香港、台湾、韓国、タイ）の旅行特性を踏まえたプロモーション活動を展開した。また、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」で、外国人訪問者の満足度が高い日本の観光地として広島平和記念資料館が第 3 位、厳島神社が第 4 位にランクインしたほか、平成 29 年（2017 年）10 月から広島空港にシンガポール線が就航し、東南アジアからの来広者も増加したこと、三大都市圏から地方部への外国人の流入が増加している影響もあり、国の増加率（19.3%増）を上回る、対前年比 29.2%増の 151 万 9 千人となり、過去最高を更新した。

表 I - 1 来広観光客数の推移

単位：千人，%

年	総数		内 訳					
			一般観光客		修学旅行生		外国人観光客	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
昭和 60(1985)	7,645		6,896		566		183	
61(1986)	7,656	100.1	6,914	100.3	566	100.0	176	96.2
62(1987)	7,633	99.7	6,936	100.3	563	99.5	134	76.1
63(1988)	7,602	99.6	6,897	99.4	570	101.2	135	100.7
平成元(1989)	8,306	109.3	7,567	109.7	567	99.5	172	127.4
2(1990)	8,342	100.4	7,648	101.1	528	93.1	166	96.5
3(1991)	8,631	103.5	7,950	103.9	513	97.2	168	101.2
4(1992)	8,613	99.8	7,972	100.3	470	91.6	171	101.8
5(1993)	8,541	99.2	7,934	99.5	451	96.0	156	91.2
6(1994)	9,334	109.3	8,691	109.5	446	98.9	197	126.3
7(1995)	9,034	96.8	8,467	97.4	412	92.4	155	78.7
8(1996)	9,494	105.1	8,940	105.6	399	96.8	155	100.0
9(1997)	10,235	107.8	9,684	108.3	389	97.5	162	104.5
10(1998)	9,259	90.5	8,726	90.1	372	95.6	161	99.4
11(1999)	9,581	103.5	9,065	103.9	349	93.8	167	103.7
12(2000)	9,252	96.6	8,739	96.4	343	98.3	170	101.8
13(2001)	9,233	99.8	8,719	99.8	341	99.4	173	101.8
14(2002)	9,259	100.3	8,730	100.1	346	101.5	183	105.8
15(2003)	9,231	99.7	8,734	100.0	317	91.6	180	98.4
16(2004)	9,406	101.9	8,887	101.8	302	95.3	217	120.6
17(2005)	10,131	107.7	9,599	108.0	301	99.7	231	106.5
18(2006)	10,277	101.4	9,678	100.8	305	101.3	294	127.3
19(2007)	10,624	103.4	10,014	103.5	298	97.7	312	106.1
20(2008)	10,435	98.2	9,818	98.0	307	103.0	310	99.4
21(2009)	10,048	96.3	9,439	96.1	305	99.3	304	98.1
22(2010)	10,571	105.2	9,918	105.1	314	103.0	339	111.5
23(2011)	10,673	101.0	10,069	101.5	327	104.1	277	81.7
24(2012)	10,873	101.9	10,197	101.3	313	95.7	363	131.0
25(2013)	11,513	105.9	10,667	104.6	316	101.0	530	146.0
26(2014)	11,652	101.2	10,690	100.2	305	96.5	657	124.0
27(2015)	11,997	103.0	10,633	99.5	335	109.8	1,029	156.6
28(2016)	12,611	105.1	11,112	104.5	323	96.4	1,176	114.3
29(2017)	13,414	106.4	11,576	104.2	319	98.8	1,519	129.2

図 I - 1 来広観光客数の推移



#### (4) 居住地別来広観光客

##### 来広観光客は関東・近畿で5割弱

平成 29 年の来広観光客を居住地別に見ると、関東、中部、山陽の割合が増加し、山陰を除くそれ以外の居住地の割合が減少している。(表 I-2)

表 I-2 居住地別来広観光客の推移(外国人観光客を除く)

単位：%

年	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	山陰	山陽	四国	九州・沖縄	計
25	4.0	3.5	37.0	15.5	2.8	19.0	0.8	4.7	3.6	9.1	100.0
26	1.9	3.5	32.0	13.6	2.7	22.3	1.5	6.8	4.3	11.4	100.0
27	2.1	3.2	33.6	16.2	2.8	19.5	1.2	6.5	3.9	11.0	100.0
28	3.3	3.9	31.0	14.6	3.9	18.7	1.2	7.8	4.9	10.7	100.0
29	1.7	3.7	36.1	16.4	2.9	17.9	1.2	8.1	2.8	9.2	100.0

資料：観光政策部推計

#### (5) 来広観光客の利用交通機関

##### 利用交通機関はJRが5割弱

平成 29 年の来広観光客の広島への利用交通機関は、JR(鉄道)の利用が多く、次いで自家用車となっている。(表 I-3)

表 I-3 来広観光客の広島への利用交通機関の推移(外国人観光客を除く)

単位：%

年	JR(鉄道)	自家用車	貸切バス	航空機	船舶	路線バス	その他	計
25	48.1	22.9	6.9	13.8	0.8	4.8	2.7	100.0
26	51.2	24.2	4.7	11.3	1.0	5.0	2.6	100.0
27	50.6	23.6	5.2	11.9	0.7	5.6	2.4	100.0
28	47.2	24.2	6.6	13.8	0.9	4.3	3.0	100.0
29	45.8	28.9	6.2	9.3	1.2	4.1	4.5	100.0

資料：観光政策部推計

#### (6) 宿泊率と日帰り観光客の滞在時間

##### 宿泊する人は約4割

平成 29 年の本市での宿泊率は、39.8%と対前年比 3.2%の減となった。

また、本市に宿泊しない日帰り観光客の市内滞在時間は、5時間以内が 42.5%から 45.9%へと増加する一方で、5～10時間が 48.7%から 47.1%へと減少し、10時間以上が 8.9%から 7.0%へと減少している。(表 I-4, 表 I-5)

表 I-4 来広観光客の宿泊状況

単位：千人，%

項目	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
入込観光客数 (A)	11,513	11,652	11,997	12,611	13,414
宿泊客数 (B)	4,518	4,573	4,825	5,428	5,344
宿泊率 (B/A)	39.2	39.2	40.2	43.0	39.8

(注) 広島市の宿泊客数は表 I-7 による。

資料：観光政策部推計

表 I-5 日帰り観光客の市内での滞在時間(平成 29 年)

単位：%

時間	5時間以内	5～10時間	10時間以上
割合	45.9 (42.5)	47.1 (48.7)	7.0 (8.9)

(注) ( ) 内は前年(平成 28 年)の数字である。資料：広島市来訪観光客アンケート調査結果

## (7) 観光消費額

平成 29 年の来広観光客の市内での消費額は、対前年比 0.7%増の約 2,314 億円と推計され、1 人当たりの平均消費額は、対前年比 5.3%減の 17,250 円となった。(表 I-6)

表 I-6 来広観光客の市内での消費額

区 分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
観光消費額(億円)	2,011 (116)	2,031 (146)	2,167 (235)	2,297 (247)	2,314 (338)
1 人あたり消費額 (円)	17,460 (21,840)	17,430 (22,220)	18,060 (22,870)	18,220 (21,010)	17,250 (22,277)

(注) ( ) 内は外国人観光客の数字である。

資料：観光政策部推計

## 2 宿泊施設の状況

### (1) 宿泊施設数

平成 29 年の宿泊施設数は 202 軒、総定員数は 23,674 人となっており、定員数の割合では、ホテルが 84.3%を占めている。(表 I-7)

### (2) 宿泊数及び定員稼働率

平成 29 年の宿泊客数は約 534 万 4 千人で、前年に比べて約 8 万 4 千人減少した。(表 I-7)

また、定員数に対する宿泊客数、いわゆる定員稼働率は、施設全体では 65.4%となっており、施設別の定員稼働率は、ホテルは 67.0%、旅館は 34.3%、簡易宿所は 34.7%であった。(表 I-8)

月別については、施設全体でみると平成 29 年は 3 月～5 月、8 月～11 月が高い定員稼働率となっている。また、例年同様、1 月が最も低い定員稼働率となっている。(表 I-8)

表 I-7 宿泊施設及び宿泊客数の推移

区 分		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	構成比
ホ テ ル	施設数 (軒)	94	94	93	94	102	50.4
	客室数 (室)	10,872	10,690	11,114	12,102	12,610	93.4
	定員数 (人)	16,783	17,284	17,020	19,937	19,967	84.3
	宿泊客数 (人)	4,162,657	4,207,121	4,342,019	5,095,763	4,878,367	91.3
旅 館	施設数 (軒)	57	53	53	51	50	24.8
	客室数 (室)	967	800	781	760	735	5.4
	定員数 (人)	2,207	1,978	2,044	2,142	2,164	9.2
	宿泊客数 (人)	270,509	236,901	242,739	227,506	270,856	5.1
簡易宿所	施設数 (軒)	12	13	14	19	50	24.8
	客室数 (室)	296	709	722	502	574	1.2
	定員数 (人)	573	971	1,273	1,026	1,543	6.5
	宿泊客数 (人)	84,363	128,688	240,292	104,257	195,177	3.6
合 計	施設数 (軒)	163	160	160	164	202	100.0
	客室数 (室)	12,135	12,199	12,617	13,364	13,919	100.0
	定員数 (人)	19,563	20,233	20,337	23,105	23,674	100.0
	宿泊客数 (人)	4,517,529	4,572,710	4,825,050	5,427,526	5,344,400	100.0

資料：観光政策部（宿泊客数は推計）

(注) ホテルとは、政府登録国際観光ホテル、広島シティホテル協会加盟ホテル及び営業許可登録がホテルであるもの等のうち、ホテルに属したほうが適切であると判断した宿泊施設である。旅館とは、日観連、市観連、広島市ホテル旅館組合加盟宿泊施設のうち、上記ホテルに属さない宿泊施設である。簡易宿所とは、民宿やペンションなど、旅館業法における簡易宿所営業を行う宿泊施設のうち、上記ホテル・旅館に属さない宿泊施設である。(平成 24 年までは、平成 24 年 3 月末に閉館したユース・ホステルを含み、平成 25 年からは大型の簡易宿所施設を含む。一部宿泊施設について、平成 27 年までは簡易宿所としていたが平成 28 年からはホテルに変更している。)

表 I-8 宿泊施設別、月別定員稼働率 (平成 29 年)

単位：%

区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年平均
ホ テ ル	51.5	58.5	70.2	70.3	69.6	64.4	65.7	78.0	69.0	70.7	73.1	62.2	67.0
旅 館	16.5	20.9	30.5	34.7	45.2	42.9	30.7	39.7	36.9	41.9	44.0	27.0	34.3
簡易宿所	17.8	24.2	35.3	46.5	40.7	31.2	38.9	52.9	35.1	37.0	35.3	20.3	34.7
全 体	49.8	56.7	68.4	68.7	68.4	63.3	64.1	76.3	67.5	69.3	71.7	60.5	65.4

### 3 観光施設等への入館者数

#### (1) 総括

平成 29 年の主要観光施設への入館者数は、広島平和記念資料館を始め 7 施設で前年を上回った。

(表 I-9, I-10)

また、スポーツ観戦入場者数は、プロ野球公式戦が前年を上回った。

(表 I-11)

表 I-9 主要観光施設への入館者数の推移

単位：人，％

年	広島平和記念資料館		追悼平和祈念館		広島城		縮景園		ひろしま美術館	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
25	1,372,153	108.7	214,027	108.9	223,658	106.5	248,107	127.0	150,280	100.4
26	1,325,530	96.6	241,106	112.7	246,112	110.0	210,086	84.7	168,223	111.9
27	1,468,956	110.8	308,788	128.1	296,422	120.4	235,432	112.1	129,688	77.1
28	1,691,467	115.1	334,551	108.3	326,750	110.2	279,928	118.9	149,145	115.0
29	1,694,233	100.2	379,252	113.4	335,498	102.7	279,640	99.9	189,154	126.8

年	現代美術館		広島県立美術館		植物公園		安佐動物公園		こども文化科学館	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
25	120,468	86.0	332,715	108.0	198,582	94.6	489,253	105.9	568,508	117.6
26	117,056	97.2	262,569	78.9	207,820	104.7	509,211	104.1	512,934	90.2
27	106,137	90.7	291,028	110.8	222,768	107.2	521,466	102.4	512,750	100.0
28	116,953	110.2	400,185	137.5	186,527	83.7	489,129	93.8	475,262	92.7
29	121,114	103.6	281,727	70.4	173,763	93.2	481,991	98.5	417,402	87.8

年	郷土資料館		ガラスの里		広島市森林公園		江波山気象館		花みどり公園	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
25	24,081	82.6	69,984	133.2	163,650	98.1	49,173	93.5	71,290	94.2
26	34,097	141.6	76,052	108.7	170,951	104.5	61,070	124.2	69,140	97.0
27	32,270	94.6	71,355	93.8	169,973	99.4	59,692	97.7	81,870	118.4
28	29,911	92.7	59,558	83.5	160,414	94.4	59,753	100.1	86,870	106.1
29	29,727	99.4	52,131	87.5	158,714	98.9	53,787	90.0	82,170	94.6

年	交通科学館		頼山陽史跡資料館		マリーナホップ		湯来ロッジ		クアハウス湯の山	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
25	195,852	85.0	9,406	95.0	2,171,594	116.5	162,566	98.1	59,965	102.9
26	197,902	101.0	7,553	80.3	2,193,912	101.0	149,123	91.7	63,340	105.6
27	210,965	106.6	10,796	142.9	2,273,801	103.6	155,503	104.3	63,150	99.7
28	193,515	91.7	10,765	99.7	2,476,292	108.9	156,138	100.4	62,311	98.7
29	232,197	120.0	9,263	86.0	2,459,734	99.3	154,104	98.7	63,193	101.4

表 I - 10 主要観光施設の月別入館者数 (平成 29 年)

単位：人

月	広島平和 記念資料館	追悼平和 祈念館	広島城	縮景園	ひろしま 美術館	現代 美術館	広島県立 美術館
1	69,684	16,001	22,342	11,749	10,450	9,815	4,982
2	66,059	15,148	19,049	24,347	10,304	0	8,279
3	133,299	25,742	34,672	32,518	13,616	5,255	9,601
4	158,681	32,508	31,375	41,348	17,245	6,880	16,330
5	211,136	37,728	37,650	25,044	42,684	7,231	21,088
6	130,032	27,503	23,359	17,619	13,307	11,625	4,811
7	119,397	27,348	24,303	13,764	15,635	9,764	34,169
8	207,272	42,294	38,668	16,795	30,710	14,218	56,428
9	138,233	33,629	26,708	18,051	6,783	14,812	42,074
10	196,163	49,744	29,231	22,725	8,588	9,363	52,830
11	183,037	48,298	32,759	39,892	11,442	25,112	14,146
12	81,240	23,309	15,382	15,788	8,390	7,039	16,989
合計	1,694,233	379,252	335,498	279,640	189,154	121,114	281,727

月	植物公園	安佐 動物公園	こども 文化科学館	郷土 資料館	ガラスの里	広島市 森林公園	江波山 気象館
1	2,411	19,554	37,318	882	2,886	3,393	1,430
2	6,076	20,194	31,067	977	2,692	6,322	6,332
3	11,112	54,765	43,154	661	4,393	12,710	4,077
4	25,881	57,949	28,575	710	3,921	20,535	4,360
5	24,553	73,935	30,610	528	6,073	23,718	3,293
6	10,204	26,630	31,953	1,160	4,296	11,301	4,258
7	11,389	15,887	43,545	2,732	4,862	11,699	3,412
8	19,361	51,947	59,896	7,082	9,591	17,124	8,900
9	16,995	51,156	26,372	2,920	3,005	16,081	5,787
10	13,567	50,650	37,944	2,946	4,137	14,014	6,382
11	12,708	45,441	26,877	8,294	3,821	16,630	3,932
12	19,506	13,883	20,091	835	2,454	5,187	1,624
合計	173,763	481,991	417,402	29,727	52,131	158,714	53,787

月	花みどり 公園	交通 科学館	頼山陽 史跡資料館	マリーナ ホップ	湯来 ロッジ	クアハウス 湯の山
1	2,990	17,071	520	187,676	13,674	4,373
2	4,770	16,377	928	171,422	11,261	3,173
3	7,480	25,870	1,330	194,040	13,673	4,276
4	18,880	23,096	334	204,584	12,492	4,138
5	9,830	23,066	799	209,542	12,953	5,543
6	5,680	11,892	618	177,796	11,260	4,735
7	5,100	15,308	806	268,023	12,882	8,306
8	4,300	29,263	846	261,128	16,396	11,600
9	5,480	15,698	559	207,394	10,354	5,062
10	4,700	21,036	626	201,623	12,524	4,865
11	7,910	21,115	991	194,325	15,559	3,744
12	5,050	12,405	906	182,181	11,076	3,378
合計	82,170	232,197	9,263	2,459,734	154,104	63,193

表 I-11 スポーツ観戦入場者数の推移

単位：数、人、位

年	プロ野球公式戦 (広島市民球場)			Jリーグ公式戦 (広島ビッグアチ・広島スタジアム)		
	試合数	入場者数	公式戦順位	試合数	入場者数	公式戦順位
25	70	1,542,979	3	21	302,674	1
26	68	1,851,981	3	23	297,688	8
27	67	2,041,951	4	21	332,223	1
28	70	2,130,663	1	21	293,965	6
29	69	2,150,261	1	21	267,238	15

資料：株式会社広島東洋カープ、株式会社サンフレッチェ広島

**(2) 広島平和記念資料館の入館者**

平成 29 年の広島平和記念資料館の月別入館状況は、大型連休のある 5 月（211,136 人）、平和記念式典のある 8 月（207,272 人）、行楽・修学旅行シーズンの 10 月（196,163 人）、が特に多くなっている。

また、大人と小人の入館者数の多い月は、大人では 8 月、5 月、4 月の順となっているが、小人では 5 月、10 月、11 月の順となっている。（表 I-12）

表 I-12 広島平和記念資料館月別入館者数（平成 29 年）

単位：人

月	大人	小人		合計		前年合計	前年比
		うち修学旅行等団体	うち外国人				
1	60,116	9,568	3,090	69,684	17,254	52,576	132.5%
2	58,472	7,587	4,164	66,059	13,624	58,215	113.5%
3	115,253	18,046	4,769	133,299	32,642	109,732	121.5%
4	133,145	25,536	14,375	158,681	60,335	119,081	133.3%
5	134,971	76,165	66,145	211,136	35,788	190,125	111.1%
6	83,558	46,474	41,228	130,032	25,603	148,432	87.6%
7	96,113	23,284	9,150	119,397	34,575	148,190	80.6%
8	165,783	41,489	3,436	207,272	40,099	240,192	86.3%
9	100,354	37,879	29,755	138,233	30,435	151,587	91.2%
10	121,784	74,379	68,101	196,163	42,294	204,008	96.2%
11	119,912	63,125	58,146	183,037	31,083	186,516	98.1%
12	57,887	23,353	17,244	81,240	19,860	82,813	98.1%
計	1,247,348	446,885	319,603	1,694,233	383,592	1,691,467	100.2%

資料：広島平和記念資料館